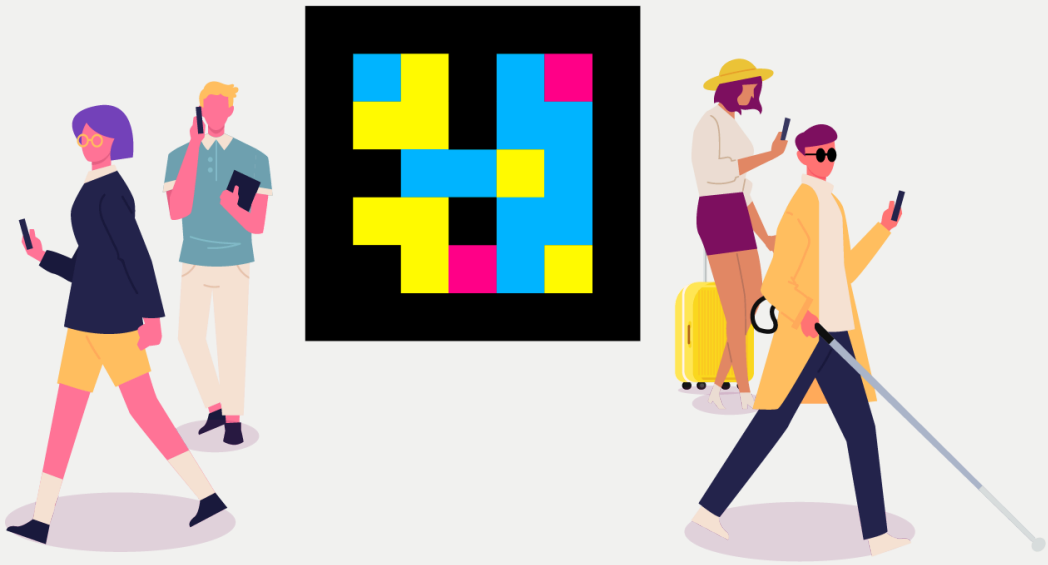
NaviLens 利用ガイド

バス停や駅、美術館・博物館、商品パッケージにあるカラーコードを、スマートフォンで読み取る方法。

2026年10月
NaviLens / マーケティング部
利用者向けガイド
バージョン：1.0



NaviLensとは？

NaviLensは、街なかや交通機関、商品にあるカラーの標示を音声で読み上げる無料アプリです。近づいたりピントを合わせたりしなくても、スマートフォンのカメラを向けるだけで、何が書いてあるか、どこにあるかを教えてくれます。

視覚障害のある方のために作られましたが、どなたでも使えます。42言語の中から、お使いのスマートフォンの言語で話します。

NaviLens® | DECODE THE WORLD©

はじめる前に

必要なのはカメラ付きのスマートフォンと、2つの無料アプリのどちらかだけです。会員登録も、メールアドレス・名前・電話番号の入力も不要です。

どちらのアプリも同じコードを読み取れます。使いやすいほうを選んでください。

視覚障害のある方向け

NaviLens

音声・効果音・振動で案内します。
VoiceOver と TalkBack に対応しています。

画面を見なくても使えるように設計されています。

Available on the App Store　GET IT ON Google Play

すべての方向け

NaviLens GO

情報を**画面に表示**し、カメラ映像の上にAR（拡張現実）の矢印を重ねて案内します。

画面を見ながら案内を読んで進むためのアプリです。

Available on the App Store　GET IT ON Google Play

アプリのインストール（3ステップ）

1. **アプリストアを開きます：**iPhoneは App Store、Androidは Google Play です。
2. **「NaviLens」で検索し、インストールをタップします。**無料で、アプリ内課金もありません。
3. **カメラへのアクセスを許可します**（初回起動時に確認が表示されます）。カメラが使えないとコードを読み取れません。

アカウント不要

メールアドレスやユーザー名、パスワードは必要ありません。ダウンロードしてすぐに使えます。

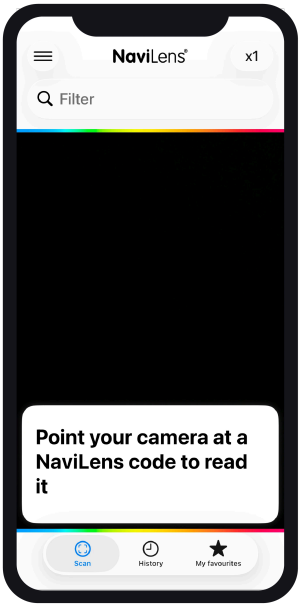
あなたの言語で話します

スマートフォンに設定している言語を自動で使います。ほかに設定は必要ありません。

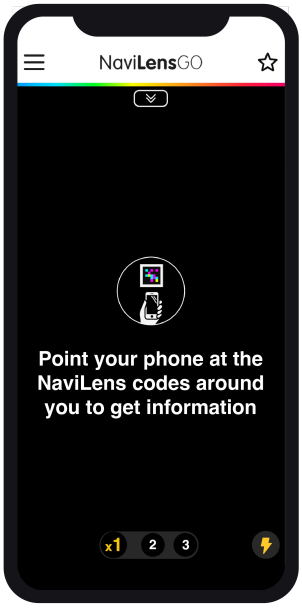
コードの読み取り方

QRコードよりかんたんです。コードを探したり、近づいたり、ピントを合わせたりする必要はありません。アプリが自動で見つけます。

1. **アプリを開きます。**「スキャン」タブでカメラがすぐに起動します。
2. **スマートフォンを体の前で持ちます。**胸の高さで、カメラを前に向けてください。画面を見る必要はありません。
3. **ゆっくり向きを変えます。**カメラで周りを見渡すように、その場で体を回してください。歩きながらでもかまいません。
4. **合図を待ちます。**カメラがコードをとらえると、音と振動でお知らせします。NaviLens GO では、コードの周りに枠も表示されます。
5. **聞きます。**標示の内容を音声で読み上げます。停留所名、路線、次のバス、展示室の案内、商品の原材料などです。
6. **次のコードを読み取ります。**戻るをタップするか、別のコードにカメラを向けるだけです。



NaviLensの起動画面：カメラ映像が画面いっぱいに表示されます。下に「スキャン」「履歴」「お気に入り」のタブがあります。



NaviLens GO：画面下に、遠くのコード用のズーム（x1・x2・x3）と、暗い場所用のライトがあります。

アプリが教えてくれること

コードを見つけると、アプリは3つのことを教えてくれます。どこにあるか、どのくらい離れているか、何が書いてあるかです。

どこにあるか

音で、コードが左・右・正面のどこにあるかを知らせます。正面にくると音が変わり、振動します。

どのくらい離れているか

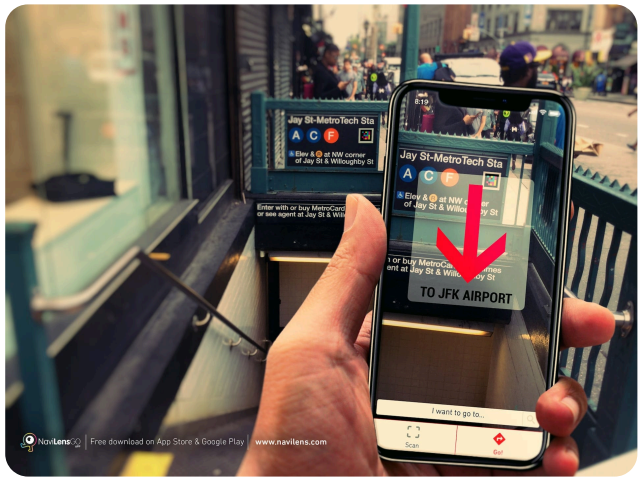
標示までの距離をメートルで伝えます。近づくと数字が小さくなるので、正しく進んでいることがわかります。

何が書いてあるか

標示の内容をあなたの言語で読み上げます。施設が対応していれば、次のバスまでの時間などのリアルタイム情報も聞けます。



NaviLensでは、文字が画面に表示され、音声で読み上げられます。写真は店頭のジーンズのタグで、商品名・色・サイズが、コードから13センチの距離で表示されています。



NaviLens GOでは、カメラ映像の上に矢印や案内表示が重なり、進む方向を示します。行き先を入力すると、そこまで案内します。

どちらのアプリでも、よく使うコードを**お気に入りに保存**したり、**履歴**で読み取ったものを見直したりできます。

うまく使うためのヒント

アプリは30メートル以上離れたコードも、歩きながらでも、暗い場所でも、ピントが合っていなくても読み取れます。困ったときは、次のヒントでほとんど解決できます。

音が鳴らないとき	指やケースでカメラがふさがれていないか、音量が上がっているかを確認してください。
カメラが起動しないとき	スマートフォンの「設定」で NaviLens を選び、カメラへのアクセスをオンにしてください。
とても暗いとき	NaviLens GO で稲妻のアイコンをタップすると、ライトがつきます。
コードがとても遠いとき	少し近づくか、NaviLens GO のズーム（x2・x3）を使ってください。
ほかの言語で読み上げるとき	アプリはスマートフォンの言語を使います。スマートフォンの設定で言語を変更してください。
コードが複数あるとき	問題ありません。アプリはいちばん近いコードを読み取ります。読みたいコードのほうへ少し向きを変えてください。

- 正確にねらったり、スマートフォンを止めたりする必要はありません。コードがカメラに映ればそれで十分です。
- コードの検出はオフラインでもできます。次のバスなどのリアルタイム情報には、モバイルデータかWi-Fiが必要です。
- アカウントは不要で、位置情報も保存しません。データの心配はいりません。



街なかのコードの例

白いステッカーにカラーの四角いコードがあり、その下に NaviLens のロゴがあります。写真はバルセロナのバス停です。

コードはたいてい目の高さにあり、バス停の上屋やドア、部屋の表示板などに貼られています。

コードがある場所と、困ったときの問い合わせ先

NaviLensのコードは30以上の国で使われています。おもに次のような場所にあります。

- **交通機関：**バス停、地下鉄や鉄道の駅、路面電車、空港。たとえば神戸市（JR・地下鉄・ポートライナー・神戸空港）、羽田空港第3ターミナル、ニューヨークの地下鉄などです。
- **公共施設：**市区町村の庁舎、病院、診療所、大学、図書館。
- **博物館・観光：**展示室、観光案内所、まち歩きのルート。
- **商品：**シリアルの箱、医薬品、衣料品のタグ。コードはパッケージに印刷されています。



カラーの枠がついたQRコードもあります

これは**アクセシブルQRコード**です。ふつうのカメラでQRコードとして読み取れるうえ、NaviLensアプリなら離れた場所からでも見つけて、内容を読み上げます。

困ったときは

- **使い方の短い動画**（多言語）：navilens.com/ja/resources/tutorials
- **ご質問・お問い合わせ**：navilens.com/ja/contactまたは hello@navilens.com へメールでどうぞ
- **コードがあるとよい場所をご存じですか？**こちらから提案できます：navilens.com/ja/community/suggest-a-place